

計画段階評価について  
山陰道（みすみ三隅～ながと長門）  
意見聴取結果（第1回）

令和 3年11月29日

国土交通省 中国地方整備局

1. 第1回意見聴取の概要	・・・	2
2. 第1回意見聴取の結果	・・・	6
3. アンケートクロス集計結果	・・・	11

# 1. 第1回意見聴取の概要

# 1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設を実施。
- 山陰道アンケート調査ポータルサイトを作成し、WEBアンケート調査も実施。

## ■道の駅、自治体等での道路利用者アンケート票の常設



▲長門市役所

## ■道の駅でのインタビュー調査

(平成31年1月13日(日)、平成31年1月23日(水))



▲道の駅「センザキッチン」

## ■アンケート調査ポータルサイトの作成



国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 創造やまぐち

HOME 事務所の案内 お問い合わせ 入札・契約状況

河川について ダムについて 道路について 道路IRサイト 災害関連情報

トピックス 以前のお知らせ

記者発表 以前のお知らせ

山陰道(三隅～長門)第1回アンケート実施中

事務所管内概要図

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 創造やまぐち

HOME 事務所の案内 お問い合わせ 入札・契約状況

河川について ダムについて 道路について 道路IRサイト 災害関連情報

HOME 山陰道の概要と検討状況

山口河川国道事務所管内の山陰道の概要と検討状況

山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を經由山口県下関市に至る390kmの高規格幹線道路であり、これまでに山口県内では「萩～三隅道路」を平成29年度に全線開通、「長門～浪山道路」を平成31年度開通に向けて工事を進めています。平成27年4月に、優先整備区間として5区間を決定し、このうち、平成29年度に「萩～豊田道路」、平成29年度に「木与付近」と新規事業化、調査・設計を進めています。現在、残る3区間の「大井～萩」、「三隅～長門」の計画段階評価手続きを進めようとしています。

【計画段階評価とは】  
公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、計画段階において、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものである。  
<国土交通省所管公共事業の計画段階評価実施要領より(一部省略)>

<関連リンク>

山陰道(三隅～長門)第1回アンケート実施中

社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会

山陰道

社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会開催状況

	山陰道(三隅～小月)	山陰道(須子～萩)
優先区間の絞り込み	第1回 第2回 第3回	第1回 第2回 第3回
各区	萩～豊田 三隅～長門	大井～萩 木与付近 須子～田万川

## ■WEBアンケートページの作成

山陰道の三隅IC(開通済み)と長門IC(仮称・整備中)間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。

Q26 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきだと思いますか。以下の(1)～(7)について、5段階評価(1～5)の中から一つお選びください。  
※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	1. とても悪い	2. やや悪い	3. どちらでもない	4. やや良い	5. とても良い
(1) 九州・下関方面から長門・萩への広域な物資を支える道路	○	○	○	○	○
(2) 長門市中心部に位置する豊水屋加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地域産業を支える道路	○	○	○	○	○
(3) 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光客向けに優れる道路	○	○	○	○	○
長門市が交流拠点に位置づけられている「道の駅センザキッチン」と、					
(4) 長門市の地域拠点「三隅・日置・湯田」や観光拠点(湯本・徳山)とのアクセス性に優れる道路	○	○	○	○	○
(5) 長門地域の重要拠点のある長門市中心部への到達性を向上させ、安定走行できる道路	○	○	○	○	○
(6) 事故が少なく安心して走れる道路	○	○	○	○	○
(7) 災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路	○	○	○	○	○

# 1. 意見聴取の概要

○回収率向上に向けて、広報紙への案内掲載、新聞折込広告を行うとともに、ケーブルテレビによる広報を実施。

## ■広報誌 (広報ながと 平成31年1月号に同封)



## ■新聞折込広告 (平成31年1月13日(日)朝刊に折込)

**山陰道(三隅～長門)の計画案づくりがスタートしました**

国土交通省からのお願い

山陰道(三隅～長門)の計画に関する  
**第1回アンケート調査** 実施中

アンケート実施期間 ▶平成31年1月31日(木)まで

**アンケート調査の目的**

山陰道は、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害に強い道路ネットワークの確保を主な目的として整備を進めています。今後のアンケートは、山陰道(三隅～長門)について、地域の皆さまや道路利用者の方のご意見を伺い、道路の計画づくりに反映するためのアンケートです。地域の将来のためにどのような道路にすべきか、アンケートを通じて、山陰道(三隅～長門)の計画づくりにぜひご参加ください。

**アンケート調査方法**

地域住民の方には「住民アンケート」、事業所および企業の代表者の方には「事業所・企業アンケート」を送付しています。下に示すような対象が揃ってありましたら、回答が速に回答をご記入し、郵便物に入封をお願いします。

**住民アンケート** 対象地域: 長門市、島根県

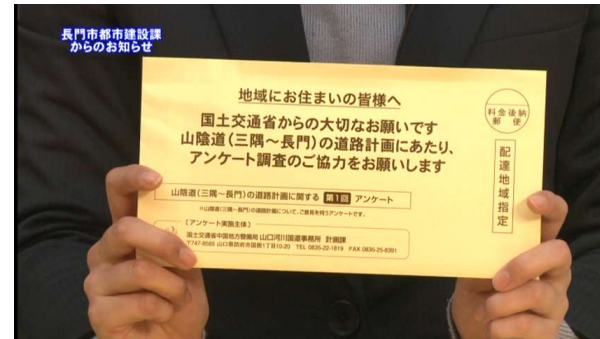
**事業所・企業アンケート** 対象地域: 長門市、山口県、島根県

また、対象地域周辺の一部の観光施設や商業施設、行政施設等にてアンケート調査を実施していますので、ご覧になられた方はアンケートへのご協力もぜひお願いします。

**アンケート調査にご協力をお願いします!**

WEBアンケートはこちら ▶ <http://www.cqr.mlit.go.jp/yamaguchi/sanindo/gaiyou.html>

## ■長門市ケーブルテレビ(平成31年1月7日放送、1月12日再放送、以降随時放送)



## ■成人式でアンケート票を配布(平成31年1月3日)



※その他、長門市の文字放送や告知放送にて広報を実施



# 1. 意見聴取の概要

## ■意見聴取(アンケート)内容

### 質問事項

- どのような道路にすべきか
- 利用しやすい道路となるためのアイデアや配慮した方が良くと思うこと

## 【アンケート質問票】 (回答はがきに記載してください)

山陰道の三隅IC(開通済み)と長門IC(仮称・整備中)間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。

**質問1** 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？  
以下の①～⑦について、5段階評価であてはまる a.～e.に○をつけてください。

<5段階評価> a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路
- ② 長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路
- ④ 長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、俵山)とのアクセス性に優れる道路
- ⑤ 長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路
- ⑥ 事故が少なく安心して走れる道路
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

**質問2** その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどについて、ご自由にお書きください。

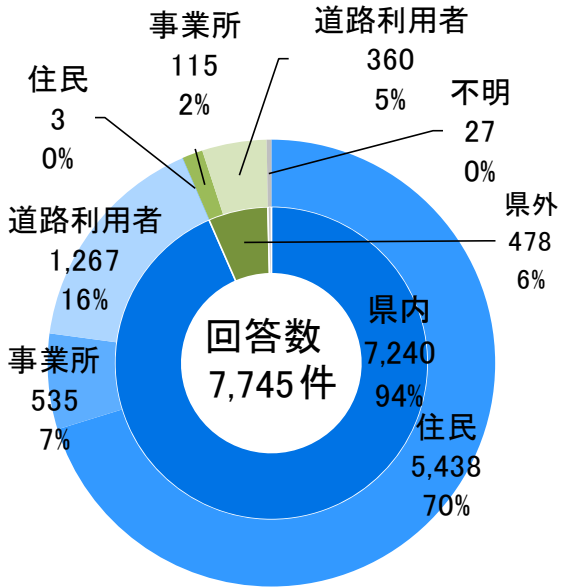
## 2. 第1回意見聴取の結果

# 2. 第1回意見聴取の結果

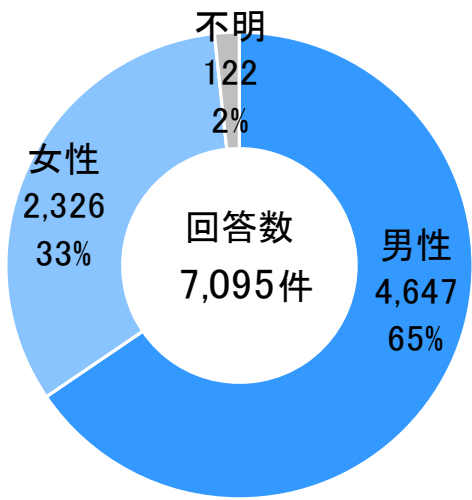
## 1) 属性①

○住民約5,500人、道路利用者約1,600人、事業所約650社から合計約7,750件の意見聴取を実施。  
○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

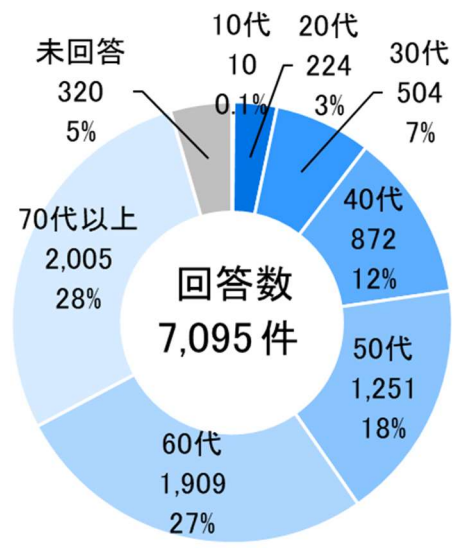
### アンケート回収状況



### 性別



### 年代



※住民、道路利用者のみ

※住民、道路利用者のみ

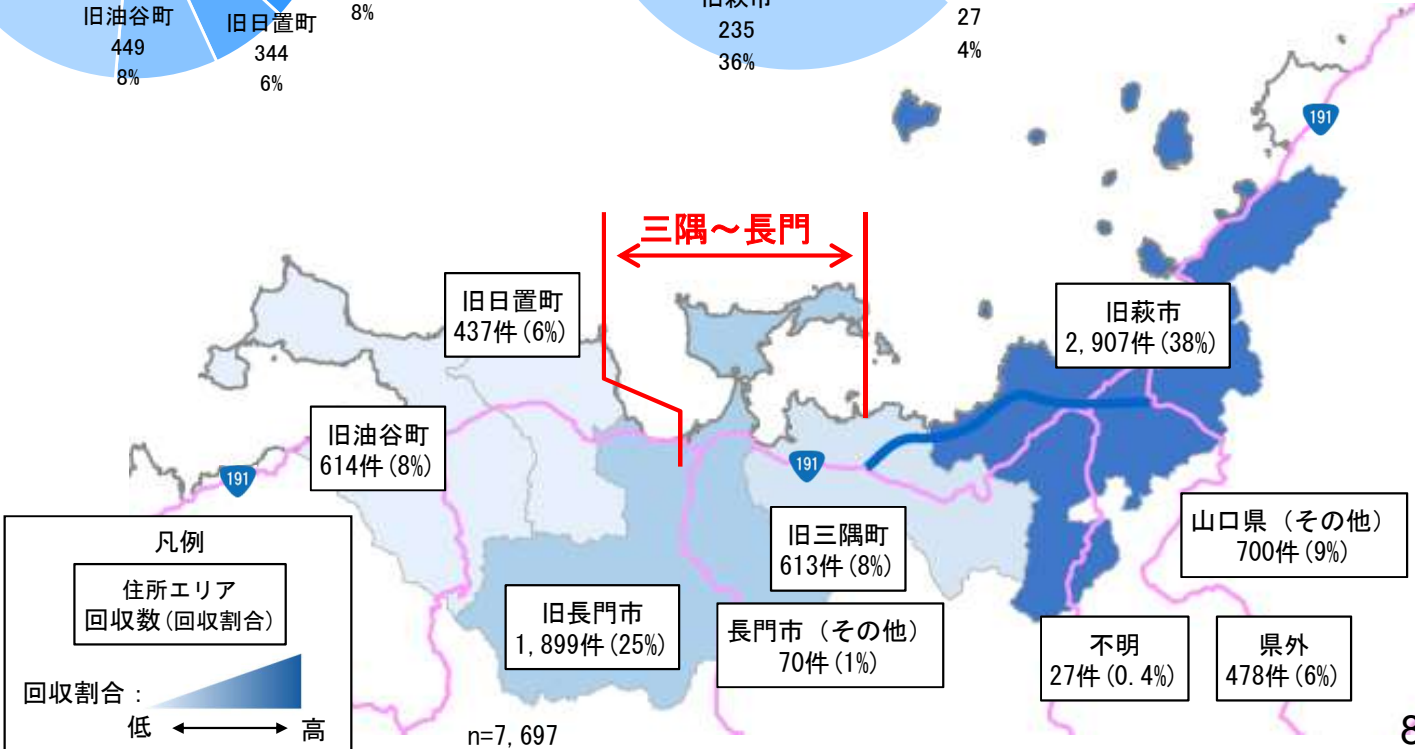
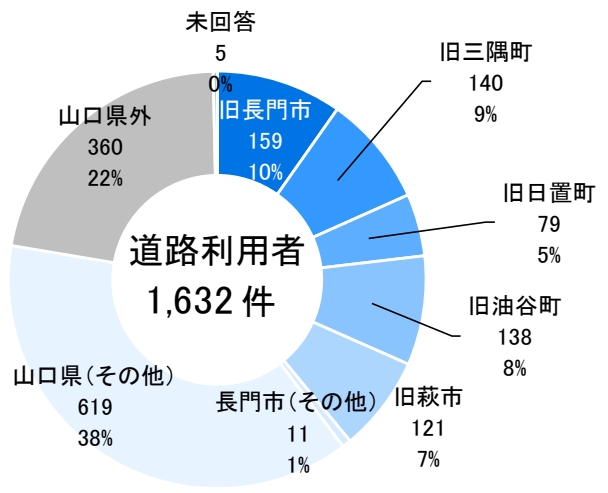
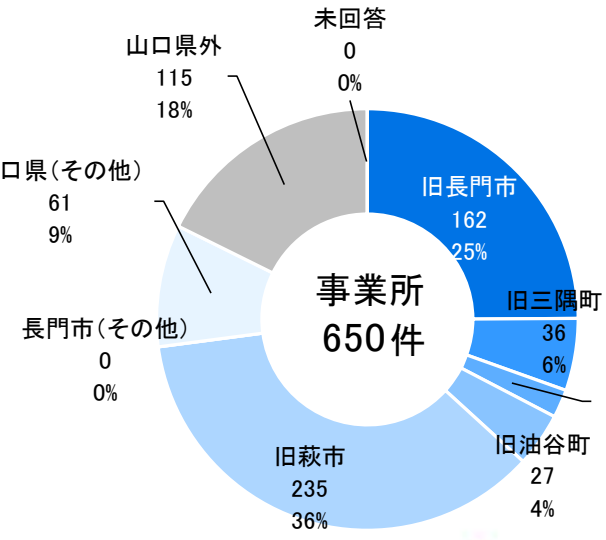
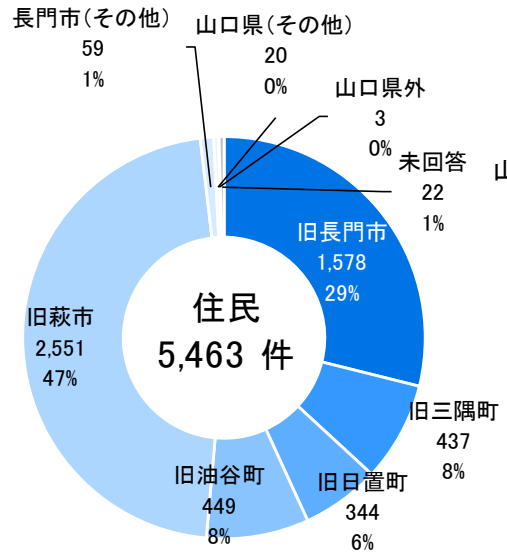
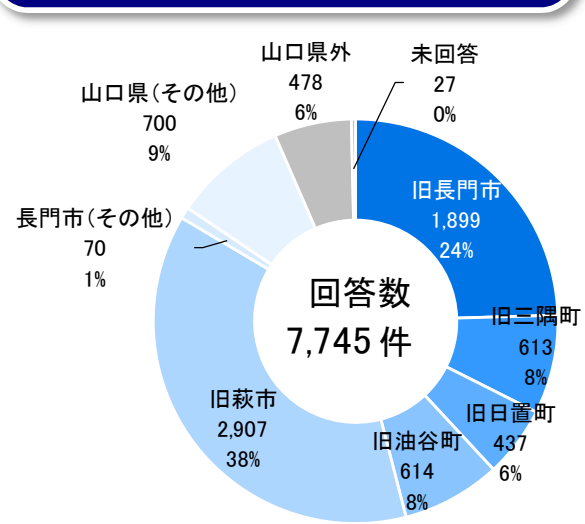


# 2. 第1回意見聴取の結果

## 1) 属性②

○回答者のうち、旧萩市からの回答が約4割、旧長門市からの回答が約3割を占める。

### 住所

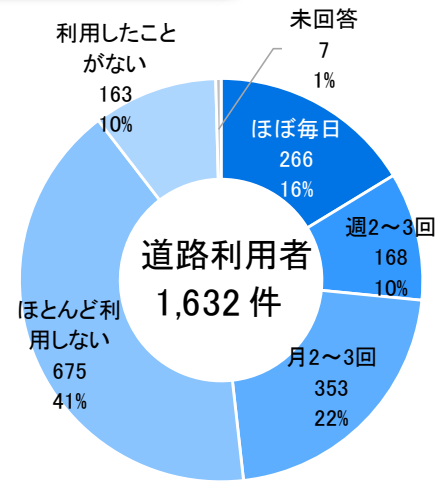
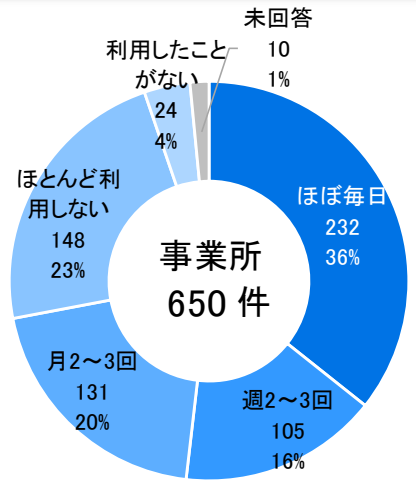
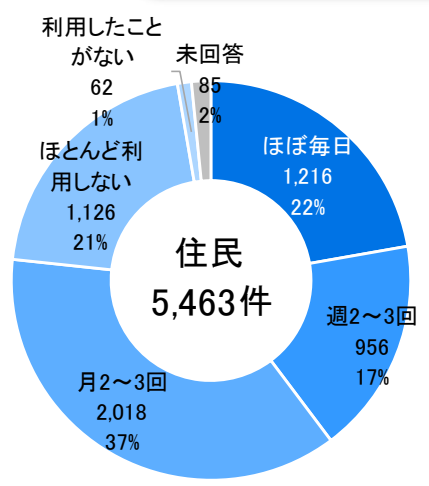


# 2. 第1回意見聴取の結果

## 1) 属性③

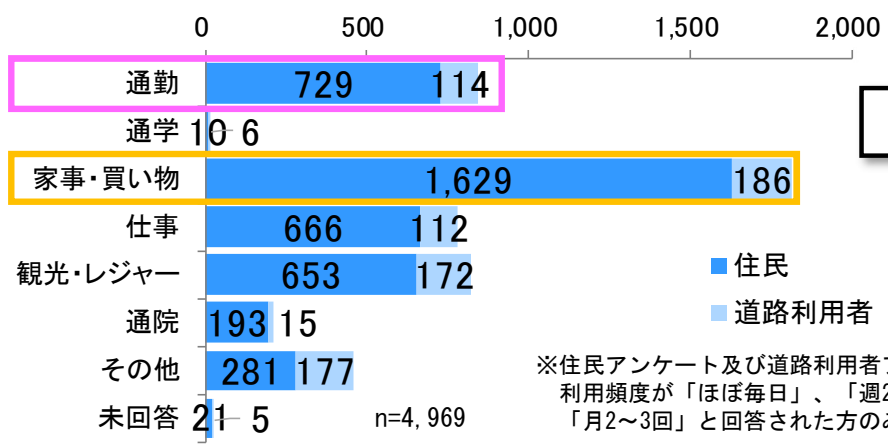
○住民と事業所の回答者の7割以上が当該区間(三隅～長門間)を「月2～3回以上利用している」と回答。  
 ○住民と道路利用者の利用目的は「家事・買い物」「通勤」と回答した方が多く、長門市内の利用が最も多く、隣接する萩市間の利用も多い。

### 現在の三隅～長門間の利用頻度

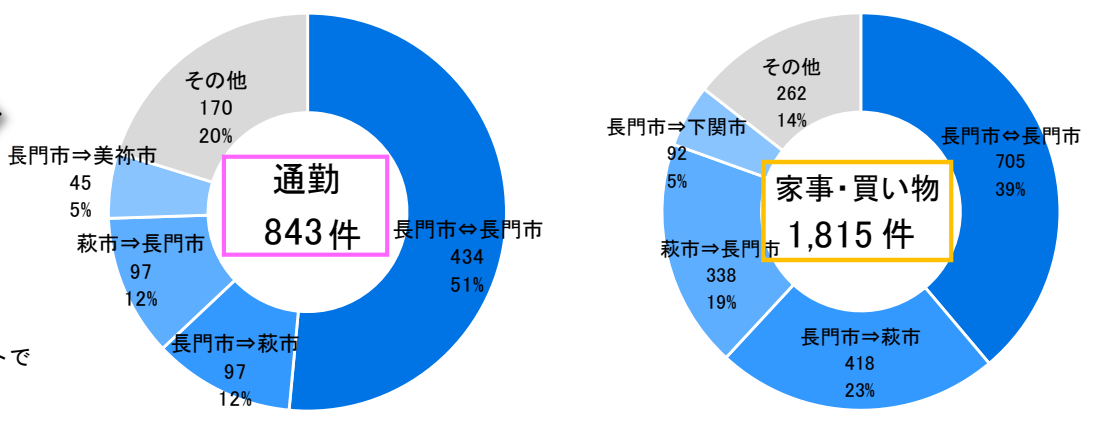


### 現在の三隅～長門間の利用目的

■高頻度利用者の利用目的



■目的別のOD内訳



※住民アンケート及び道路利用者アンケートで利用頻度が「ほぼ毎日」、「週2～3回」、「月2～3回」と回答された方のみ対象

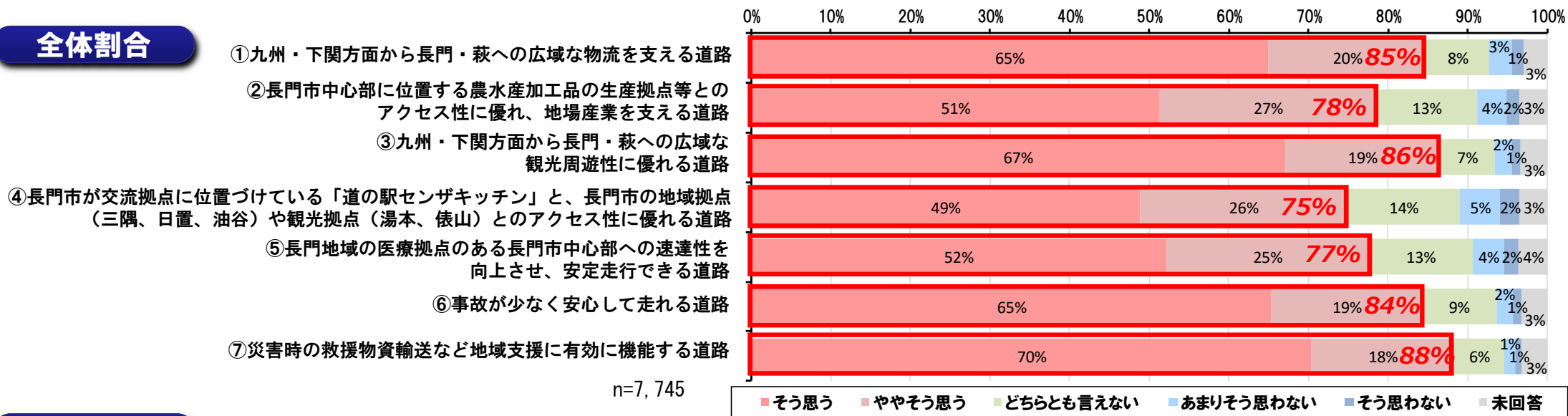
# 2. 第1回意見聴取の結果

## 2) どのような道路にすべきか

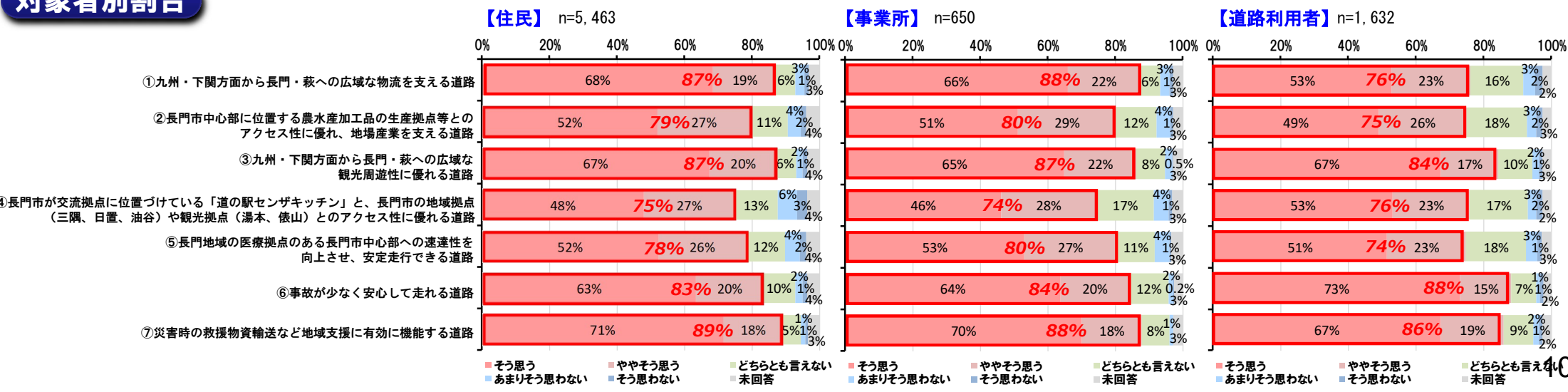
○「どのような道路にすべきか」という質問に対しては「⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路」、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路」、「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路」を求める声が多い。

質問1 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？ ※①～⑦について、5段階評価であてはまるものを選択

### 全体割合



### 対象者別割合



### 3. アンケートクロス集計結果

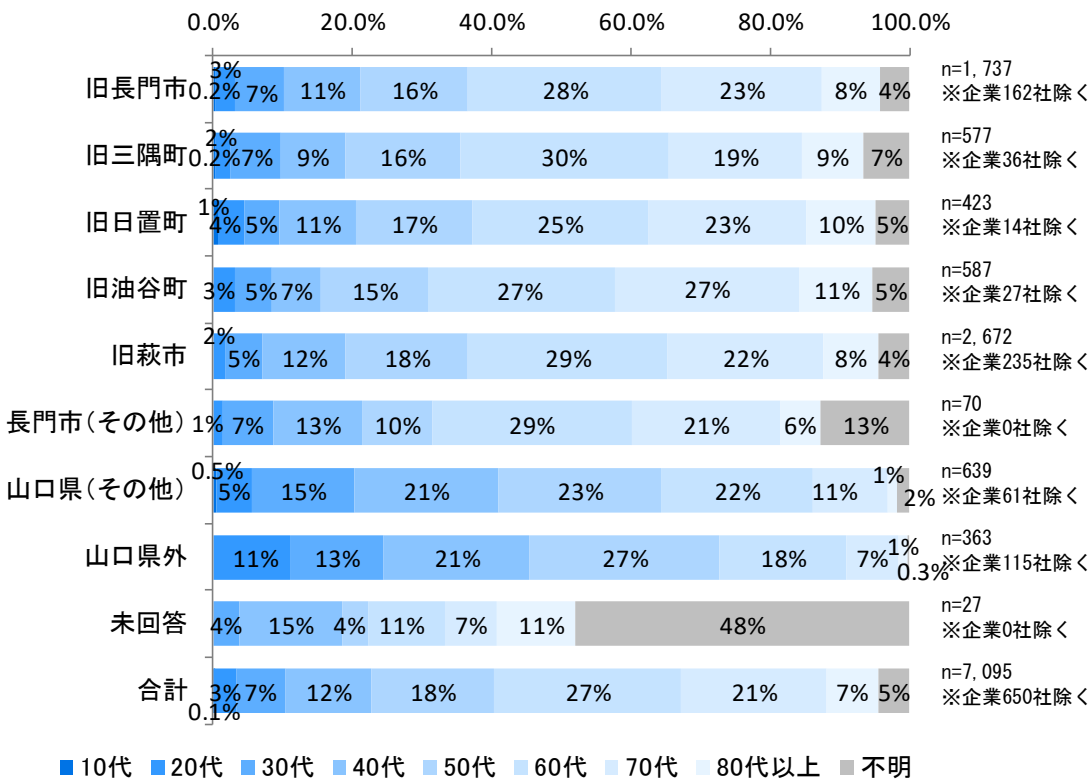
# 3. アンケートクロス集計結果

## 1) 属性分析① (住所別)

○住所別年齢は、年齢構成に大きな偏りは無い。  
○住所別性別は、概ね男性が6~7割、女性3割である。

【住所×年齢】

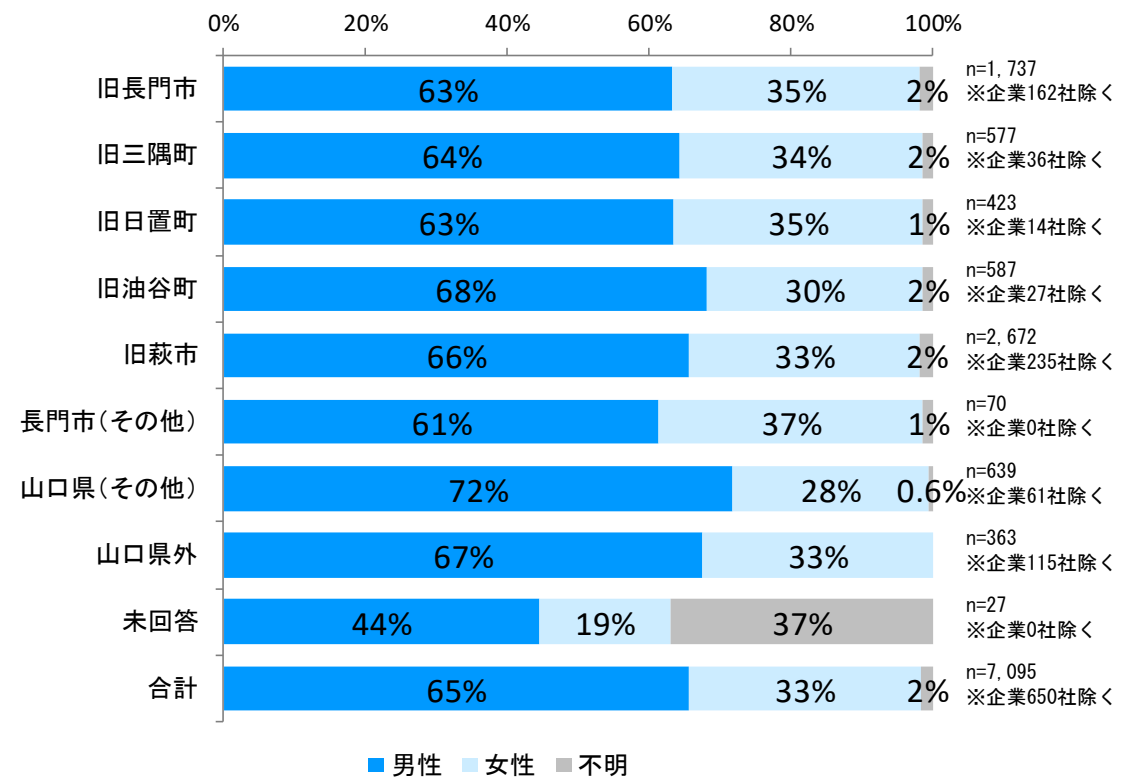
総回答者数 N=7,095



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
※企業アンケート (n=650) を除く

【住所×性別】

総回答者数 N=7,095



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
※企業アンケート (n=650) を除く

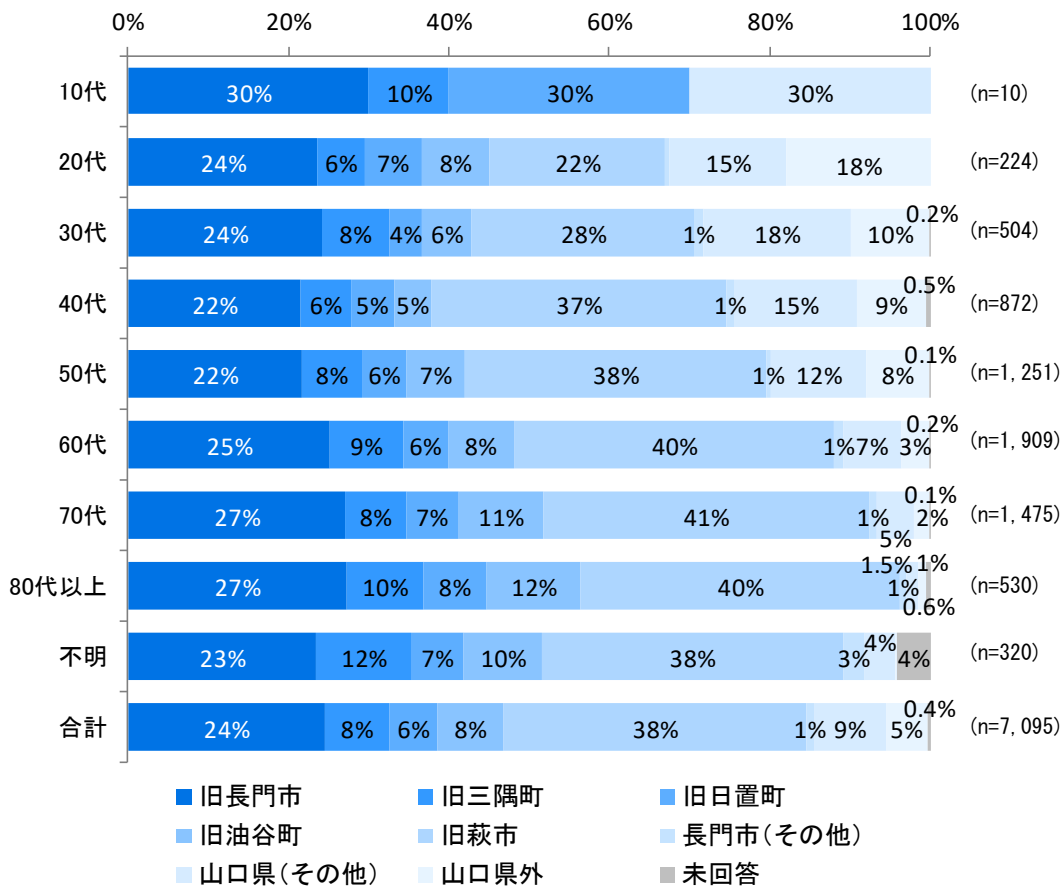
# 3. アンケートクロス集計結果

## 2) 属性分析② (年齢別)

- 年齢別居住地は、高齢になるほど長門市の回答者の割合が高い。
- 高齢になるほど、男性の回答割合が高い。

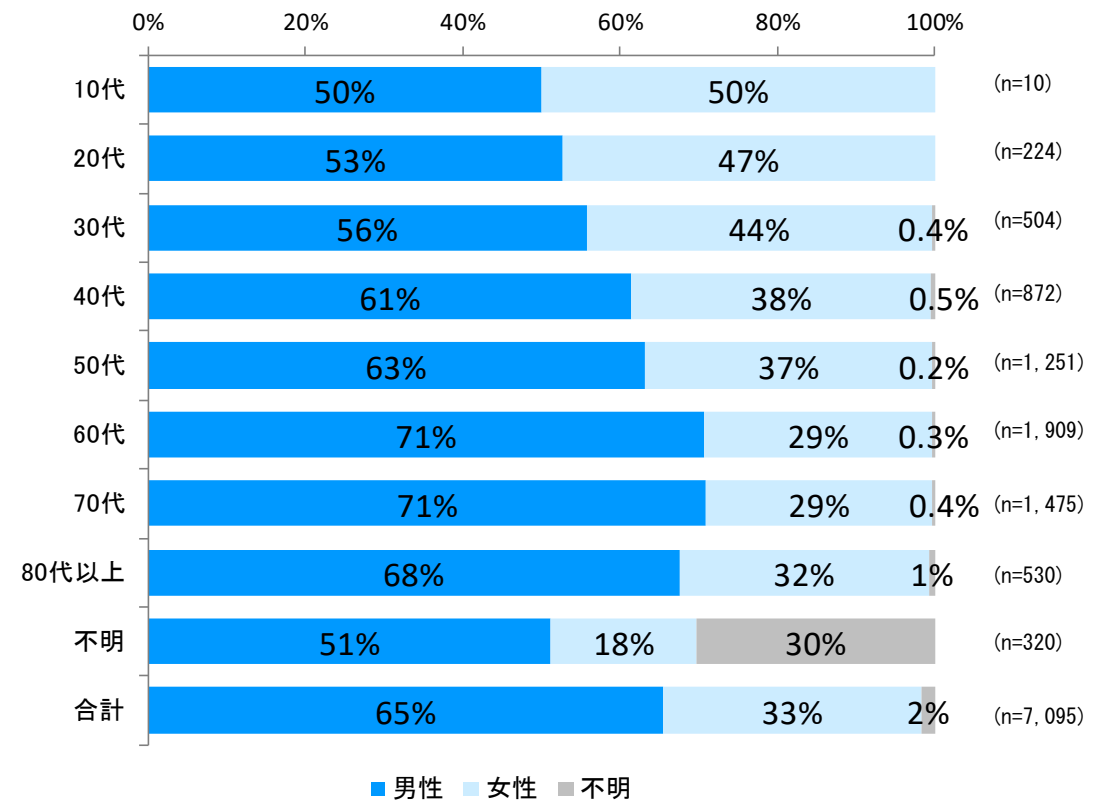
【年齢×住所】

総回答者数 N=7,095



【年齢×性別】

総回答者数 N=7,095



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
 ※企業アンケート (n=650) を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
 ※企業アンケート (n=650) を除く



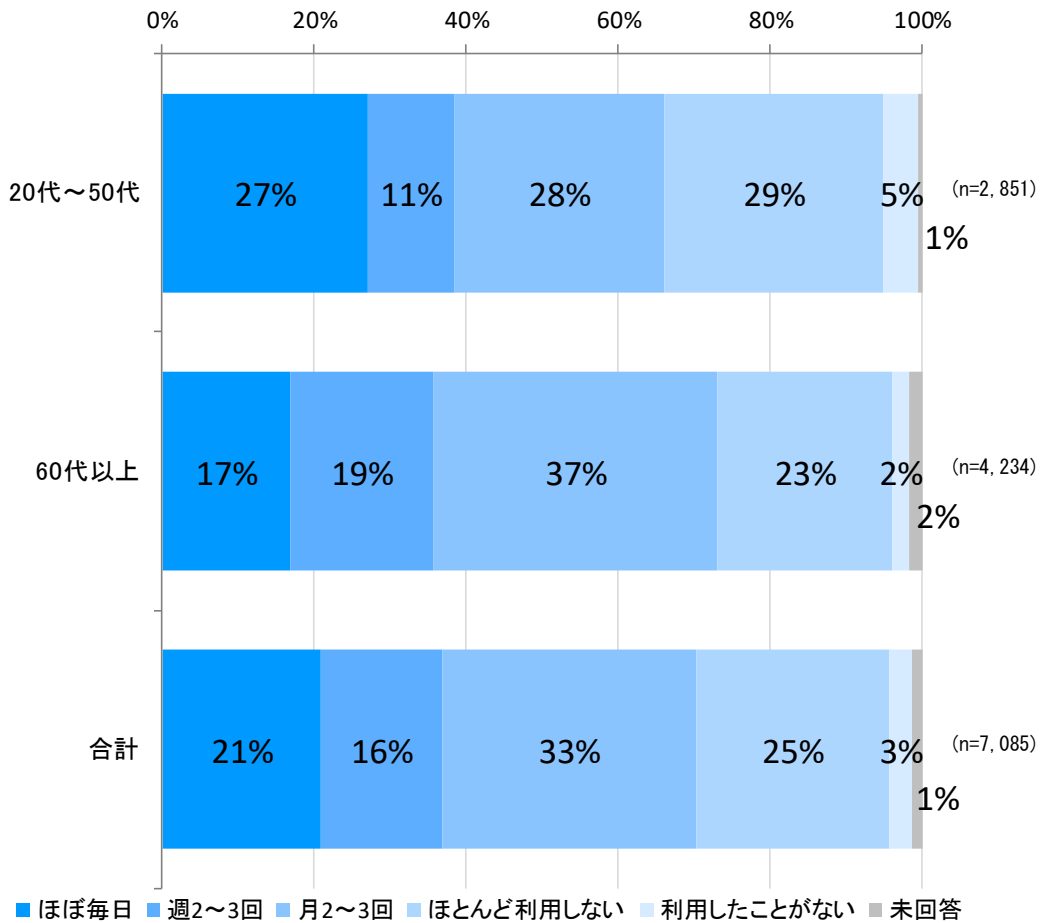
# 3. アンケートクロス集計結果

## 3) 属性分析③ (年齢別)

- 年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
- 年齢別利用目的は20代～50代は通勤、60代以上は家事・買い物が高い。

【年齢×利用頻度】

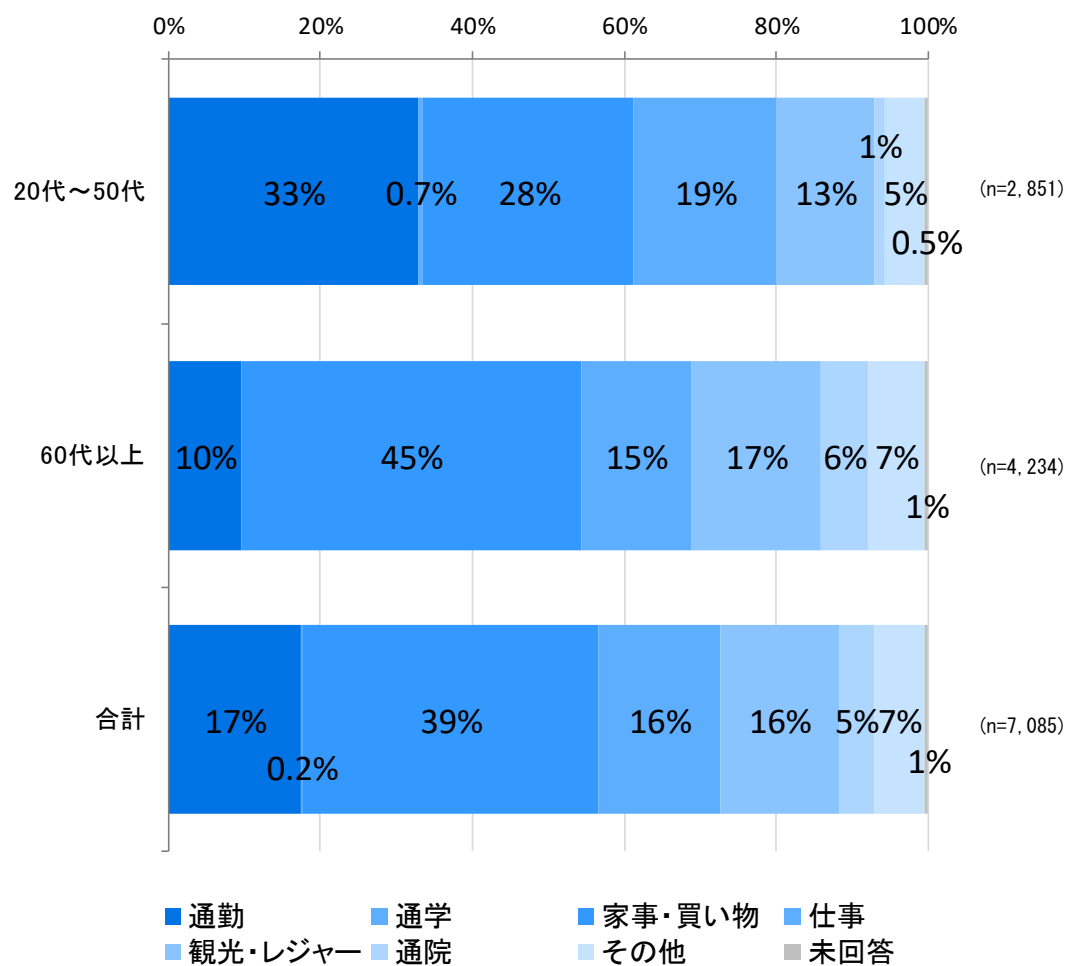
総回答者数 N=7,085



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
 ※10代 (n=10) を除く  
 ※企業アンケート (n=650) を除く

【年齢×利用目的】

総回答者数 N=7,085



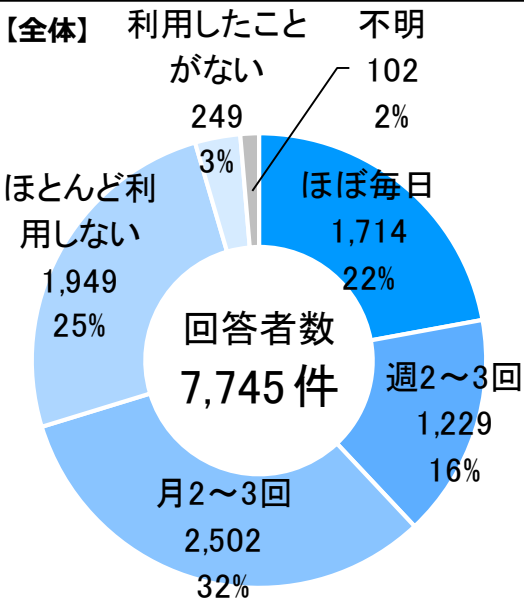
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果  
 ※10代 (n=10) を除く  
 ※企業アンケート (n=650) を除く

# 3. アンケートクロス集計結果

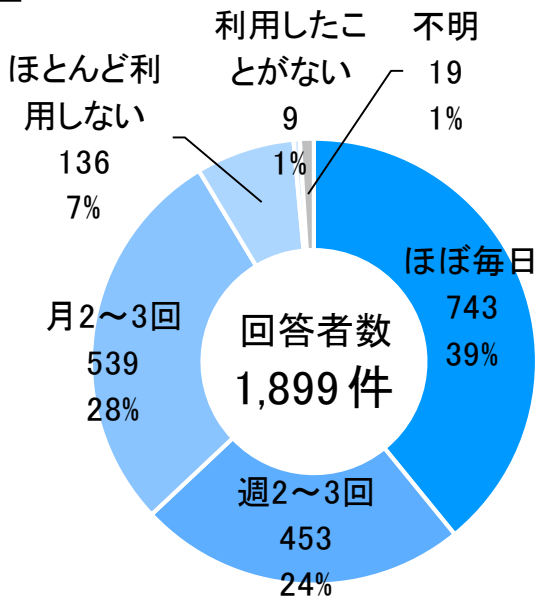
## 4) 利用頻度・目的分析 (住所別)

○住所別の利用頻度は、旧三隅町の利用頻度が高い。  
 ○住所別利用目的は、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「通勤」「観光・レジャー」となっており、旧萩市は「観光・レジャー」が多くなっている。

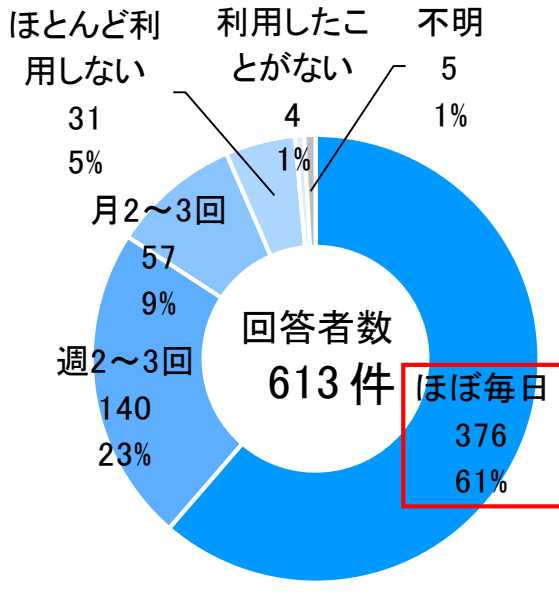
【住所×利用頻度】



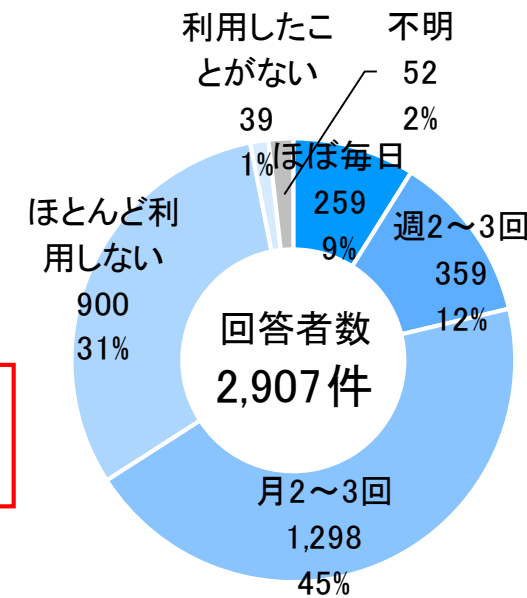
【旧長門市】



【旧三隅町】

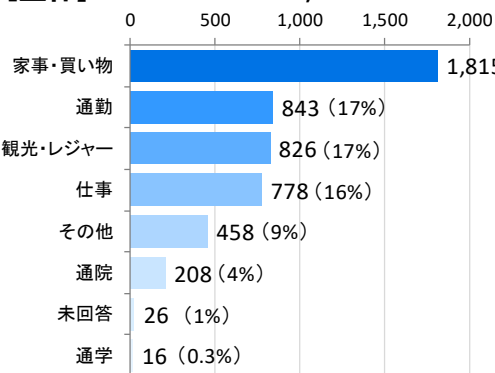


【旧萩市】

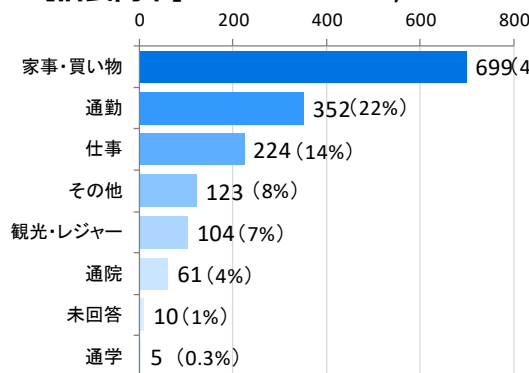


【住所×利用目的 (住民・道路利用者)】

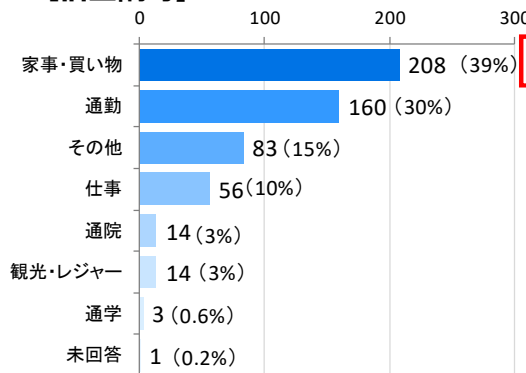
【全体】 目的回答者数 N=4,970



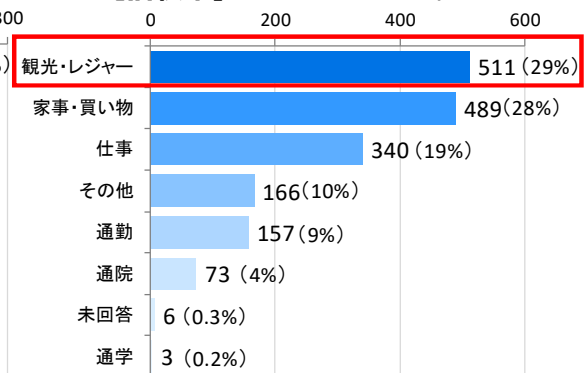
【旧長門市】 目的回答者数 N=1,578



【旧三隅町】 目的回答者数 N=539



【旧萩市】 目的回答者数 N=1,740



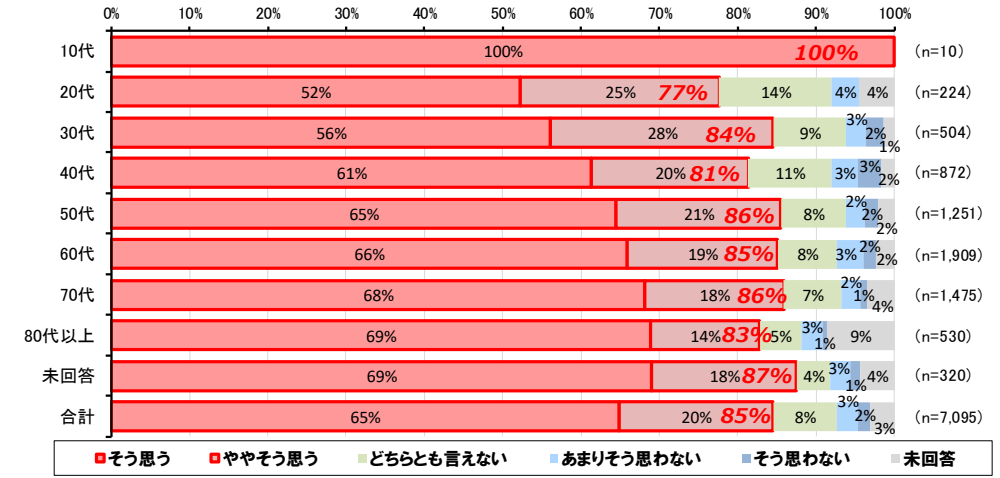
※住民アンケートおよび道路利用者アンケートの集計結果  
 ※企業アンケート (n=650) を除く

# 3. アンケートクロス集計結果

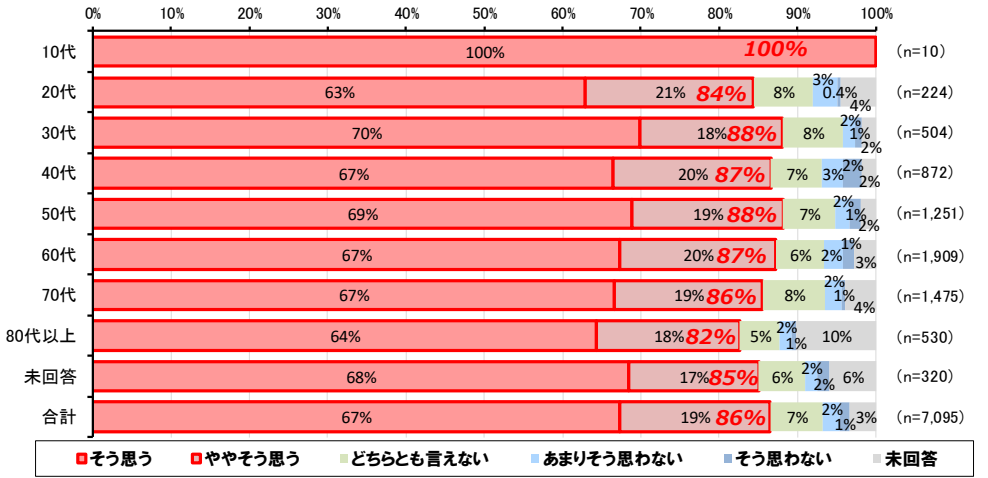
## 5) どのような道路にすべきか① (年代別)

○年齢による大きな傾向の違いは見られない。

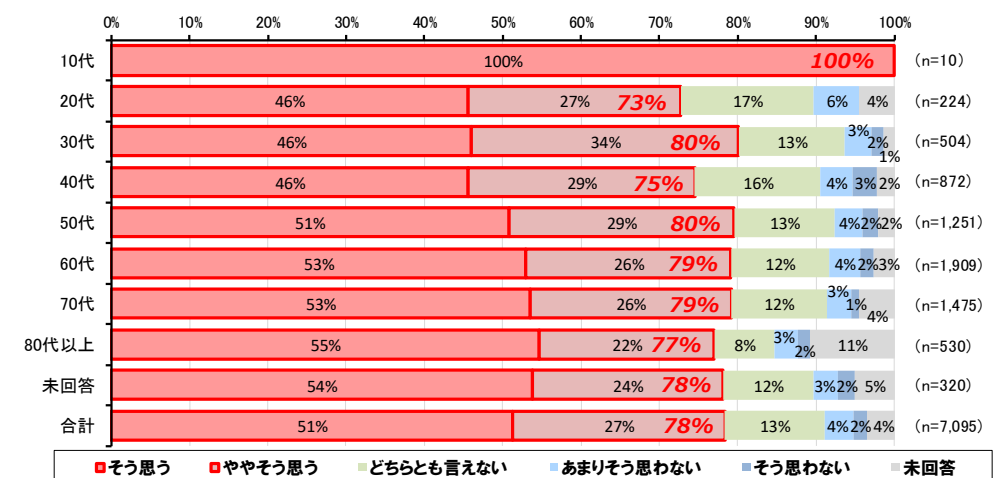
①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路



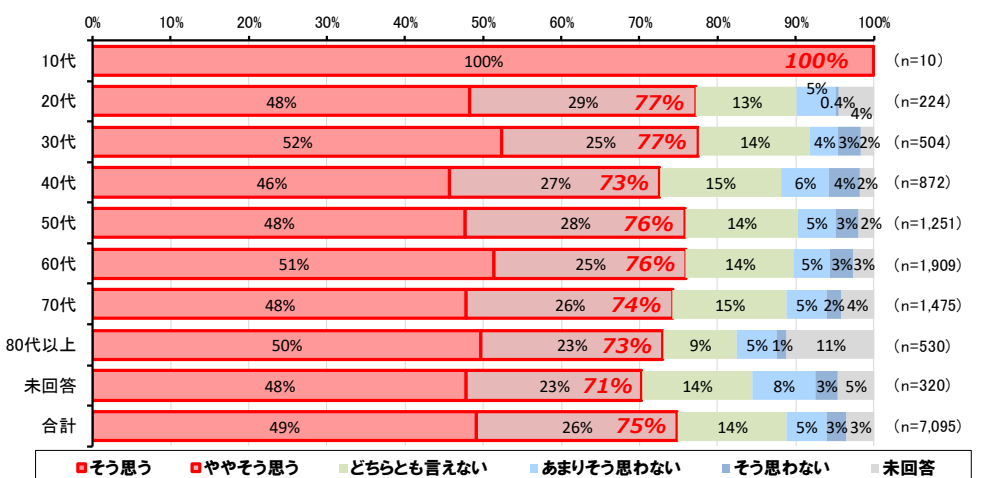
③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路



②長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路



④長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、俵山)とのアクセス性に優れる道路

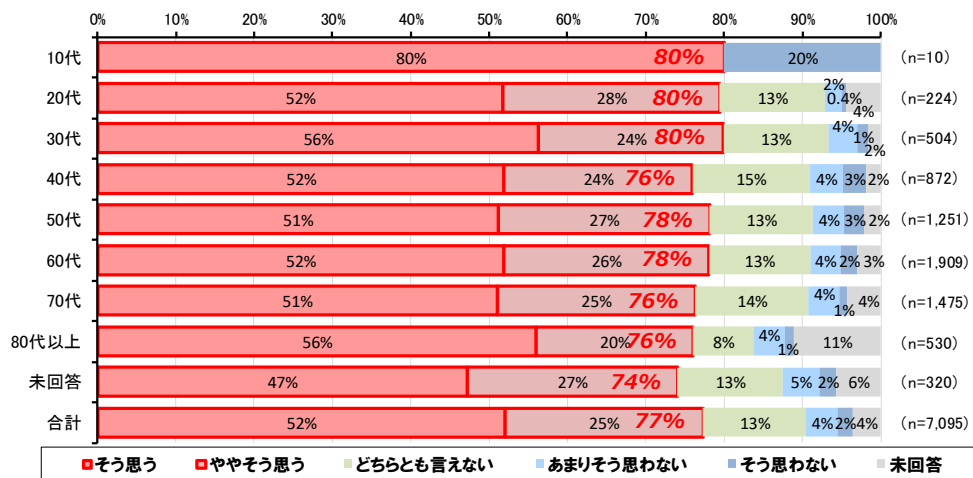


# 3. アンケートクロス集計結果

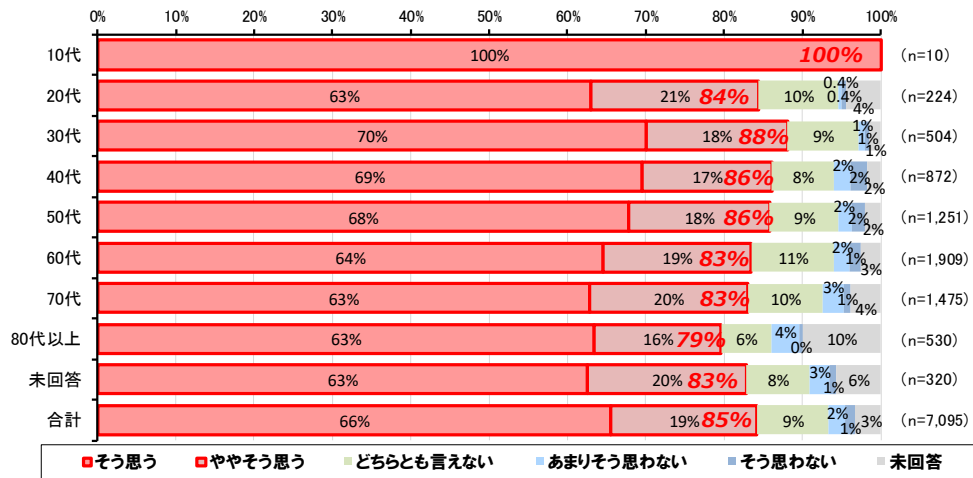
## 5) どのような道路にすべきか① (年代別)

○年齢による大きな傾向の違いは見られない。

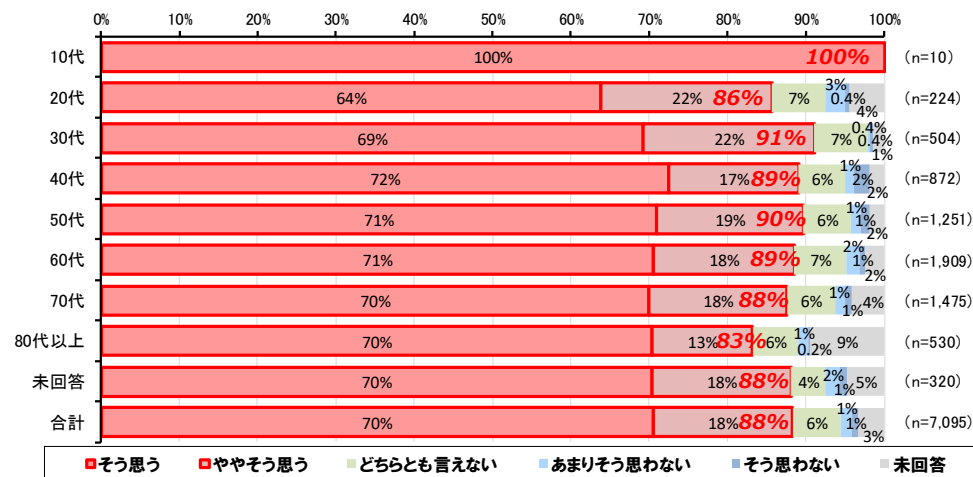
⑤長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路



⑥事故が少なく安心して走れる道路



⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

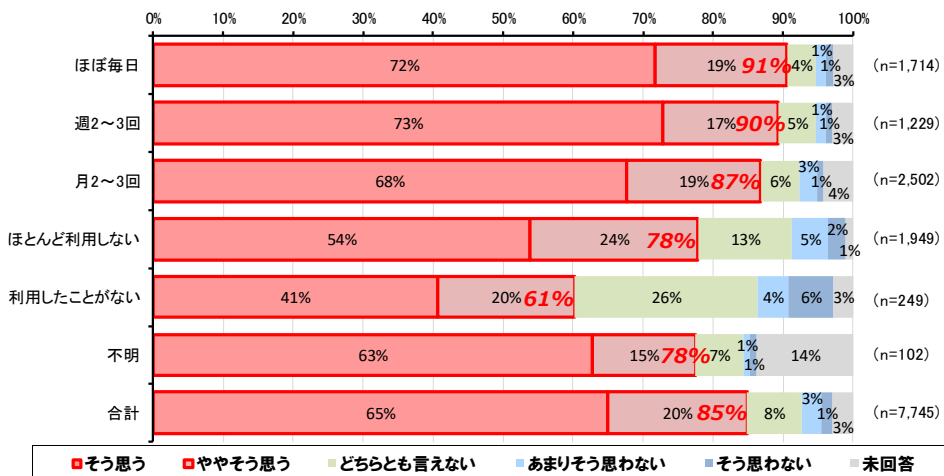


# 3. アンケートクロス集計結果

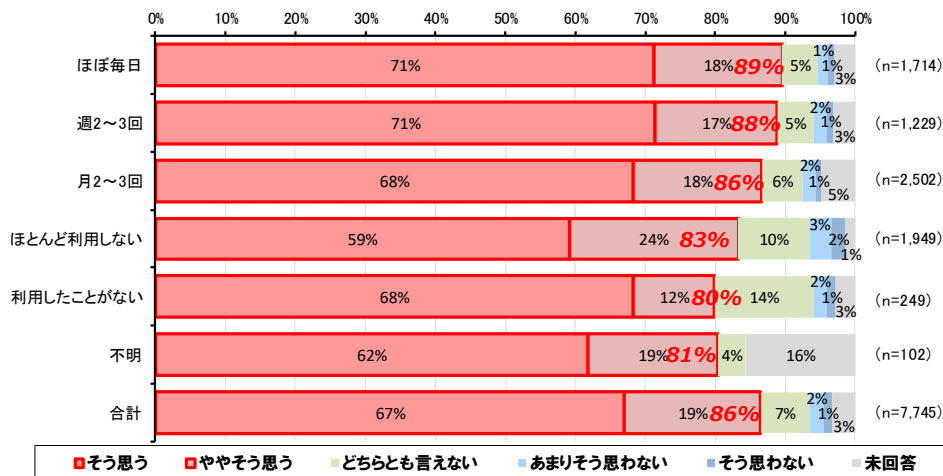
## 5) どのような道路にすべきか② (利用頻度別)

○利用頻度が低い回答者ほど、「そう思う」「ややそう思う」と答える割合が低い。

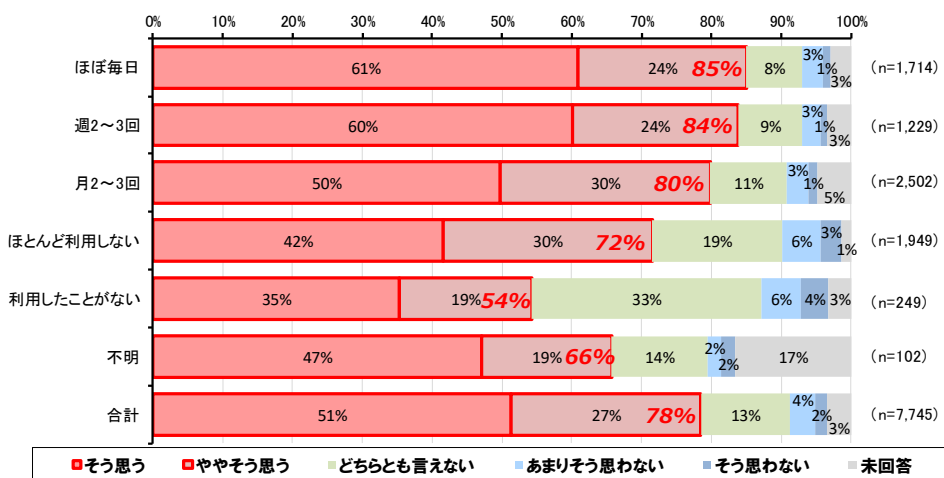
①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路



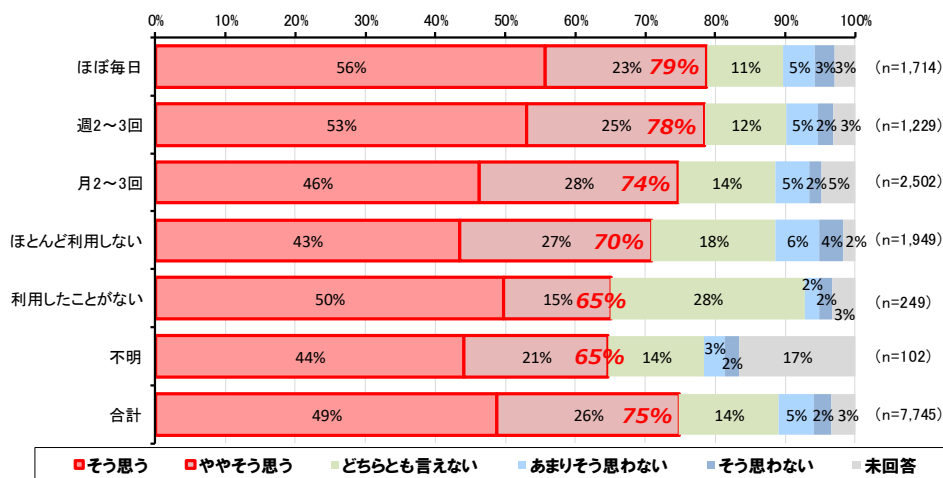
③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路



②長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路



④長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、俵山)とのアクセス性に優れる道路



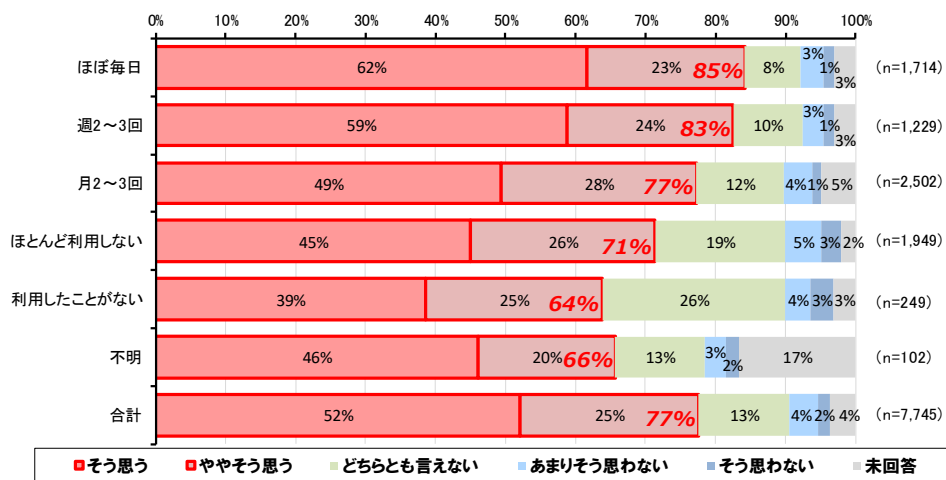
### 3. アンケートクロス集計結果

#### 5) どのような道路にすべきか②（利用頻度別）

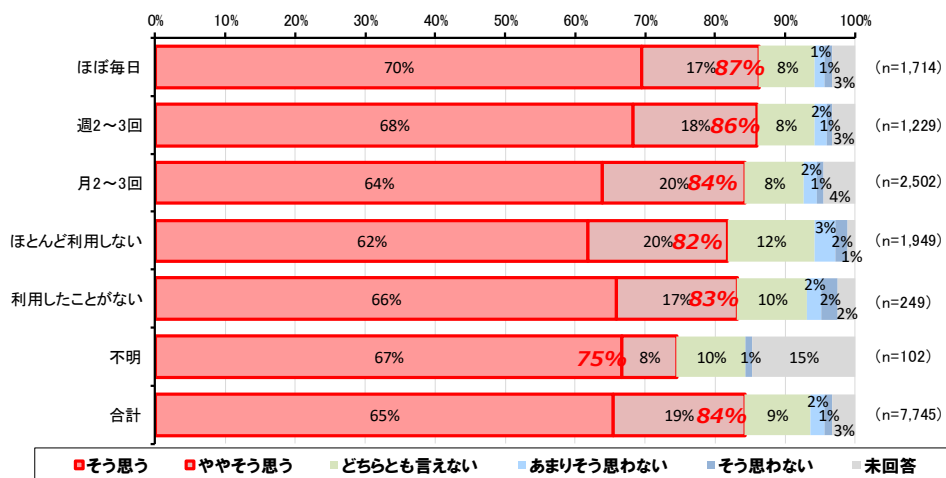
○利用頻度が低い回答者ほど、「そう思う」「ややそう思う」と答える割合が低い。

○「⑥事故が少なく安心して走れる道路」「⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路」は利用頻度が低い回答者でも、他の項目に比べ「そう思う」「ややそう思う」と答える割合が高い。

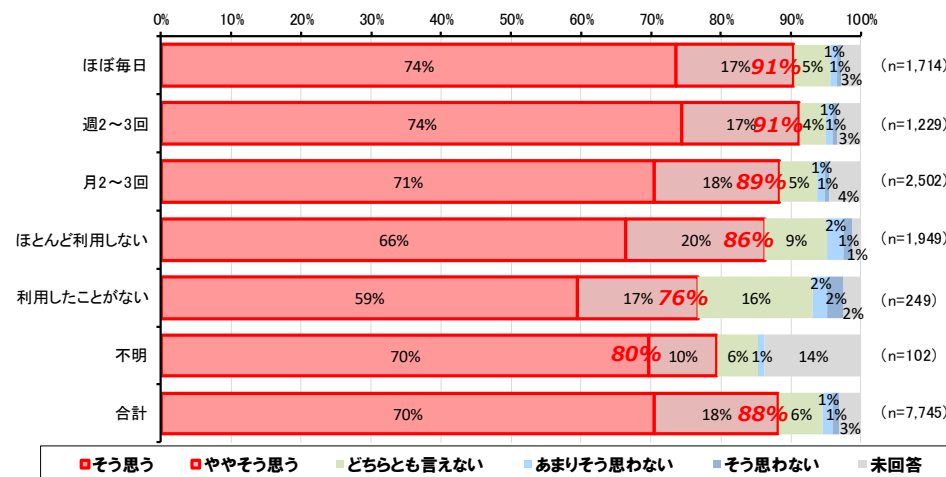
##### ⑤長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路



##### ⑥事故が少なく安心して走れる道路



##### ⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路



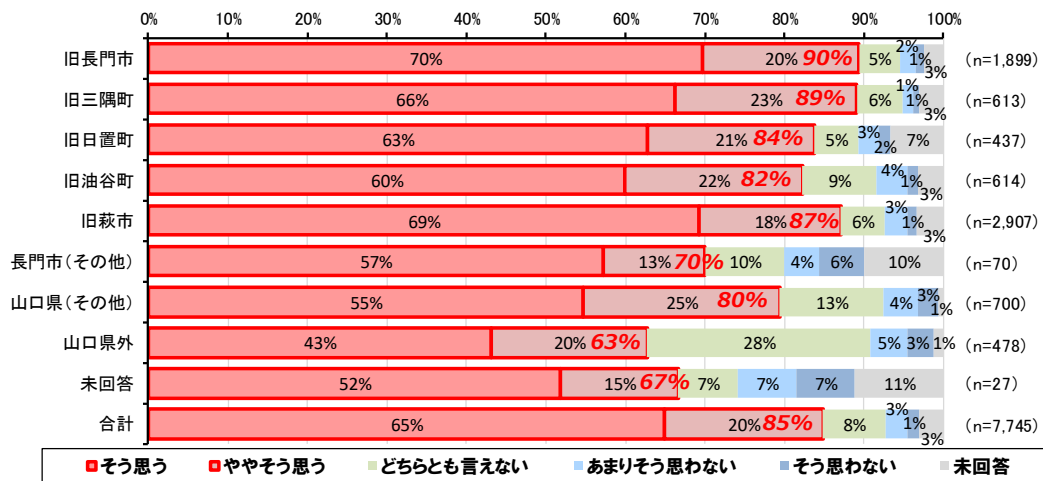


# 3. アンケートクロス集計結果

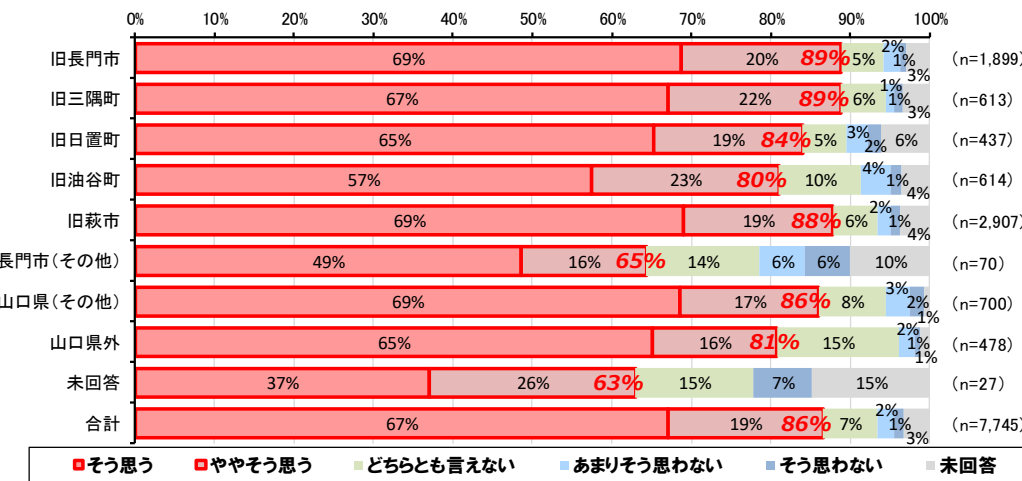
## 5) どのような道路にすべきか③ (住所別)

○同じ長門市内であっても、旧日置町や旧油谷町の回答者は「そう思う」「ややそう思う」と答える割合がやや低い。  
 ○「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路」「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路」は三隅～長門が通過しない旧萩市の回答者でも、他の項目に比べ「そう思う」「ややそう思う」と答える割合が高い。

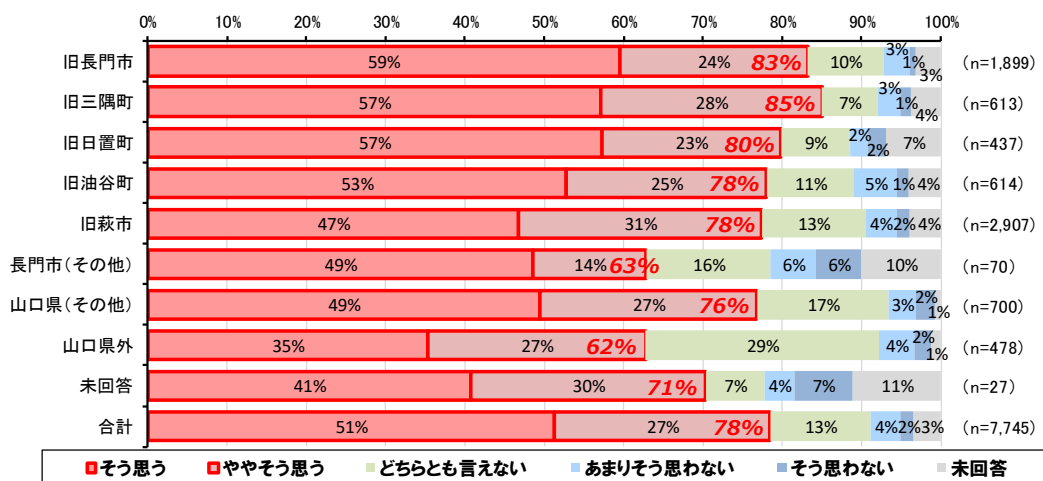
①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路



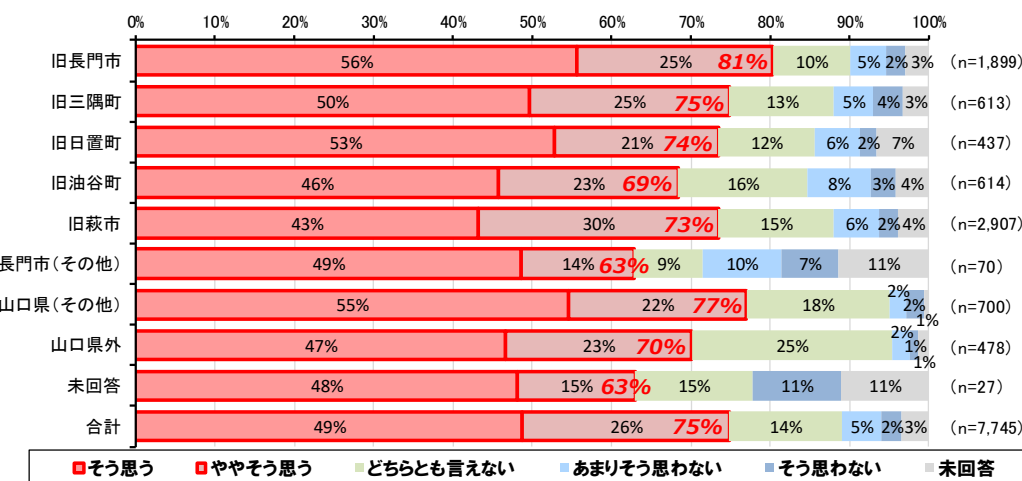
③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路



②長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路



④長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、俵山)とのアクセス性に優れる道路

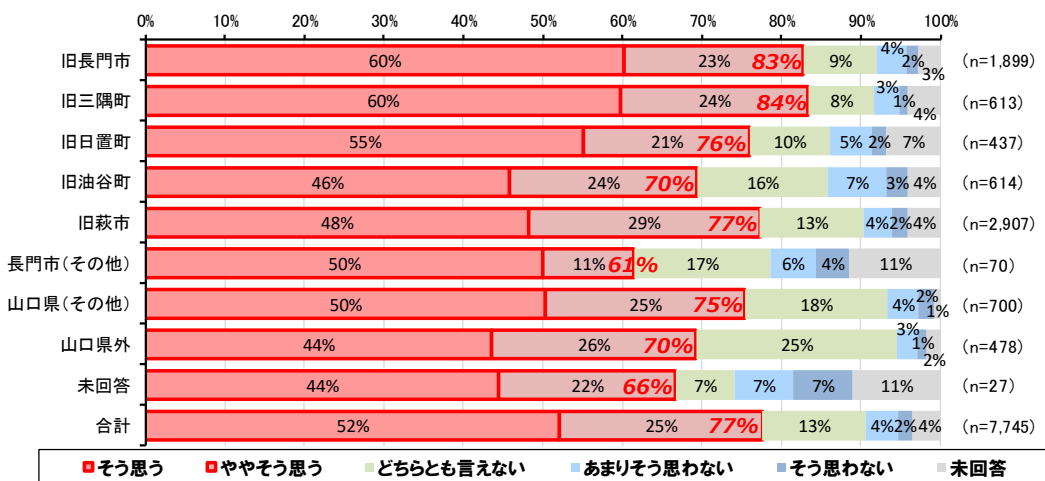


### 3. アンケートクロス集計結果

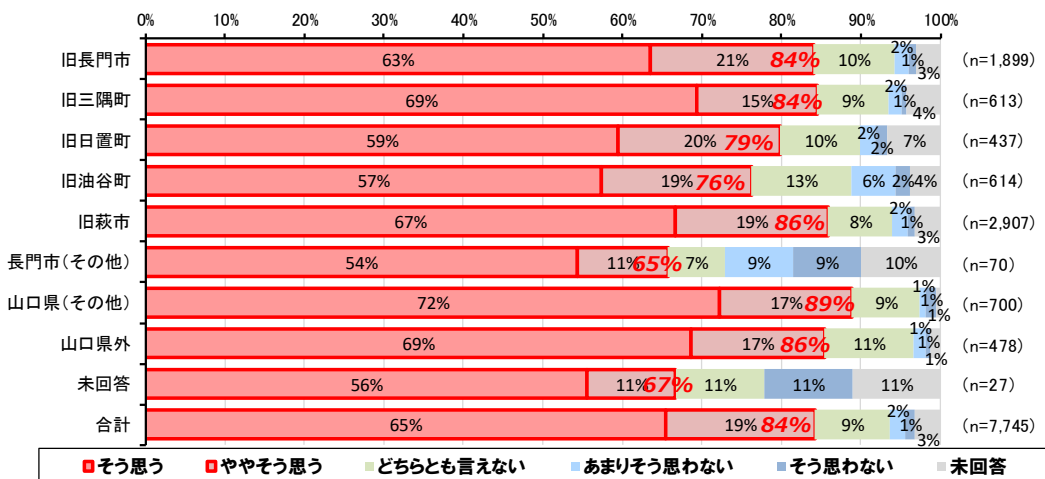
#### 5) どのような道路にすべきか③ (住所別)

- 同じ長門市内であっても、旧日置町や旧油谷町の回答者は「そう思う」「ややそう思う」と答える割合がやや低い。
- 「⑥事故が少なく安心して走れる道路」「⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路」は三隅～長門が通過しない旧萩市の回答者でも、他の項目に比べ「そう思う」「ややそう思う」と答える割合が高い。

⑤長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路



⑥事故が少なく安心して走れる道路



⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

